

韓日未来フォーラム報告書

立命館大学 4回生 岩井翔吾

まず、現在の韓国と日本の関係が悪化している中で、このような素晴らしいフォーラムを開催して下さった実行委員の方々、主催者に感謝を申し上げます。私は、今回初めて韓日未来フォーラムに参加し、多くのことを学ぶことが出来ました。このフォーラムで私は、徴用工労働者についてのグループに所属し、韓国の学生5名、日本の学生2名で討論を行いました。討論をする中で、今まで認識していた徴用工の問題が違っていた面があったり、歴史全体についての認識に大きな違いがあるということを知りました。韓国では、教育を受ける中で、歴史をしっかりと学びます。それと違い日本では、歴史については全体的に広く学ぶという歴史についての学びの違いがあることに気づきました。特に、徴用工問題として挙げられる「軍艦島」での世界遺産登録については、ユネスコへの登録をする際の条件があり、これらの条件に日本政府が守っていなかったことがあったことを知りました。このことについて日本では大きく公表されていません。私自身が日本での教育を受けてきた為、韓国の歴史教育がすべて正しいとは判断し難いと思います。しかし、日本の歴史でも韓国との問題について教科書から排除されているということは、何かそこに問題があるからなのではないかということを感じました。討論をする中で、私達はこの問題について解決をする案を見つけるのではなく、今私達がこの問題に対してできることは何かを考えました。そこで、私達は、メディア、文化・交流、教育の3つの主なテーマからどのようなことができるか考えました。私はメディアをテーマとしてどのような問題点が挙げられるのか、その問題から私達に出来ることは何かを考えました。問題点として特に興味深かったのが、どちらのメディアも政府によって大きく左右されているということでした。両国とも反日、反韓を煽るようなメディアによる報道がされていることが分かりました。このような問題より、SNSや自らの行動によって現状を発信し、変えていくことが私達に出来る大切なことなのではないかと考えました。教育の面では、お互いの歴史についての学びの違いがあったため、より深くしっかりと学ぶことを考えました。韓国側では、日本側の主張も取り入れながら学ぶこと、日本側では、しっかりと韓国との歴史問題について学ぶことが挙げられました。歴史の教育を変えていくことはとても難しいことです。そのため、今大きく問題となっている日韓関係を自分自身で調べ、理解していくことも、私達が今できることではないかと思います。そして、文化・交流の面では、お互いの歴史について理解した上で、お互いの歴史の場所や文化について知り、興味を持つことがこれからの深い交流に繋がっていくのではないかと考えました。徴用工問題について歴史を変えることはできないが、私達の手で韓国と日本の将来が良い方に向かっていくことができたらと思います。

今回のフォーラムでは、他グループの素晴らしい発表も聞くことができ、様々な問題の

面からどのように解決していくか、私達に出来ることは何かを知ることができ、多くのことを知ることができた有意義な時間でした。また、「考える」ことだけではなく、今回のフォーラムで知り合った多くの友達との「出会い」を大切にこれからの日韓関係を良い方向へと築き上げていきたいと思います。今回のフォーラムは私にとってかけがえのない貴重な体験でした。ありがとうございました。

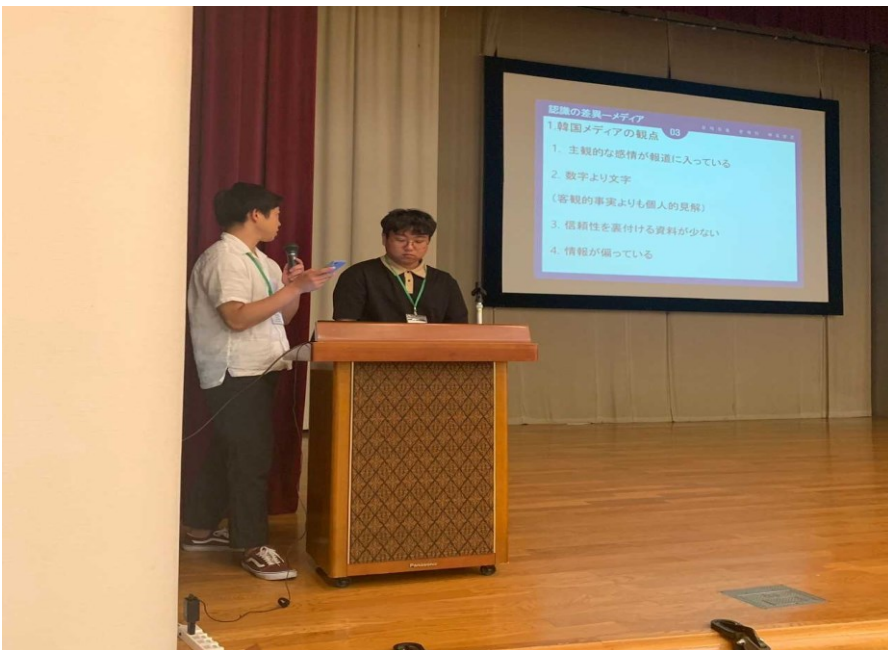
・ 討論風景



・ フィールドワーク in 出雲大社



・発表風景



・食事風景



・集合写真

